

GMO

Corporate Vision 2011

2011年12月期 決算報告

2011年1月1日 ▶ 2011年12月31日

業績の詳細は
同封の招集通知を
見てね!



株主の皆様へ

日本を代表する総合インターネットグループへ
グループ内に築き上げた
シナジーと強みを発揮し、
成長戦略を推進します。

代表取締役会長 兼 社長 グループ代表

成田 寿



インフラ、ネット証券事業が牽引し、増収増益

当期の連結業績は、前期比38.7%増の大幅増収を確保し、最終利益は前期の2倍近くに拡大しました。WEBインフラ・EC事業とインターネット証券事業が牽引し、成長分野への18億円の大規模投資を実施した上で、同31.4%増の営業増益を果たしました。現在の当社グループは、インターネットメディア事業のポイントインセンティブや、ソーシャル・スマートフォン事業におけるユーザーベースの拡大などにより、事業間の集客シナジーが従来以上に高まっています。さらに、システムの内製化によるスピードと低コストの実現が強みをもたらしている状況です。

今後はインフラ、メディア事業の利益を追求

WEBインフラ・EC事業は、レンタルサーバーを中心とする積極投資の結果、大幅増収に対し1.5%の増益にとどまりましたが、次期は投資フェーズを終えて利益率向上に移行していきます。一方、インターネットメディア事業は、検索関連の低調により減益となりましたが、今後は営業生産性の回復に努めつつ、スマートフォン向けSEOなど新商材を投入し、増益を目指します。

成長分野は順調に拡大、さらなる目標に向けて

成長分野では、特にスマートフォンゲームプラットフォーム「Gゲー」の会員数拡大が著しく、当期目標の100万人に対して199万人（国内+海外）を達成しました。2012年度は1,800万人を目標に定め、収益化スキームの検討も進めていきます。また、共同購入型クーポン「くまポン」も売上を順調に拡大しています。今後は、2月8日に締結した同業の株式会社シェアリーとの提携を活かし、先行他社をキャッチアップしていく考えです。

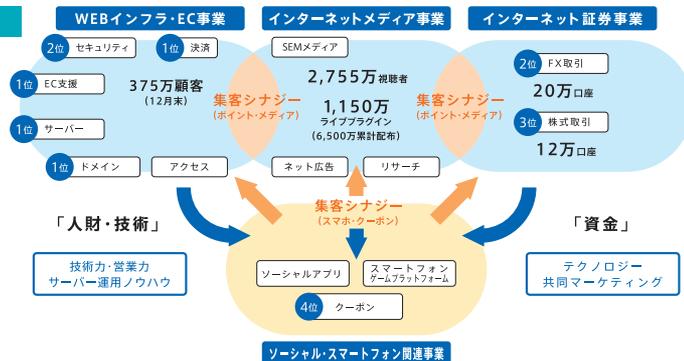
当社グループは、引き続き成長戦略の推進により事業を発展させ、インターネットのインフラ事業者として社会的責任を全うしてまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

GMOインターネットグループの成長戦略

▼ 集客シナジーと成長分野への再投資サイクル

●各事業が投資効果とシナジーを発揮し合い、成長性を確保

当社グループでは、WEBインフラ事業、インターネットメディア事業で培った人材や技術、インターネット証券事業が生み出す資金を、成長分野に投入する「再投資サイクル」を確立しています。同時に、メディア事業が提供するポイントや自社メディアが、他の事業に集客シナジーをもたらし、成長分野のユーザーベースの拡大やマーケティングノウハウも、他の事業への集客導線として機能します。



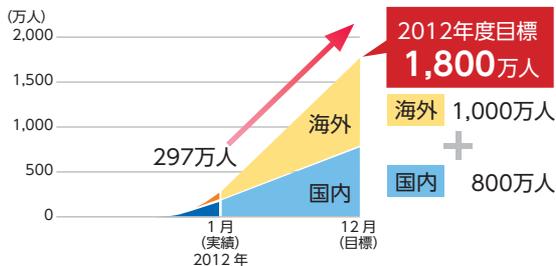
▼ 重点戦略におけるトピックスと今後の展開

●スマートフォンゲームプラットフォーム「Gゲー」

当期の「Gゲー」は、大手ゲームメーカーのメジャーゲームタイトルをはじめ、無料ゲームやオリジナルタイトルなど200タイトルを超え、国内での順調な拡大に加え、米国・欧州・韓国を中心とする海外への積極的な展開を行いました。

集客ノウハウの確立を踏まえ、2012年度の目標会員数は国内・海外合計1,800万人の達成を掲げます。

◆ Gゲー 会員数の推移



●新ドメイン事業

今年1月より新たなgTLD (「.com」「.net」といった一般的なトップレベルドメイン)の申請受付が開始。当社が目指す「.shop」の獲得については、ICANN (ドメイン名やIPアドレスを管理する非営利組織)による審査期間を経て、今年度中に大勢が判明する見通しです。

また、当社はすでに東京都の「.tokyo」など多くの自治体や大手企業から、ドメイン運営受託の内定をいただいでおり、2013年度以降大きなビジネスとして拡大していくことが期待できます。

◆新gTLD申請スタート



2011年12月期連結業績データ (単位百万円、カッコ内は前期比増減率)

当期		次期予想	
売上高	営業利益	売上高	営業利益
61,691 (38.7%増)	7,525 (31.4%増)	64,000 (3.7%増)	8,400 (11.6%増)

WEBインフラ・EC事業	
売上高	24,361 (19.6%増)
営業利益	3,076 (1.5%増)

- デジロック社のグループインでドメイン取得が大幅拡大
- 5大商材すべてが好調に推移

インターネットメディア事業	
売上高	22,039 (3.6%増)
営業利益	1,598 (25.3%減)

- モバイル広告とスマートフォン向けサービスが好調
- SEMメディアの低調が響き減益

インターネット証券事業	
売上高	14,757 (405.7%増)
営業利益	4,386 (492.5%増)

- FX取引高シェア2位、株式取引シェアは3位に上昇
- レバレッジ規制の影響を抑え大幅拡大

ソーシャル・スマートフォン関連事業	
売上高	1,932 (2570.8%増)
営業利益	△1,543 (-)

- 「Gゲー」会員数は目標を超え、期末現在199万人を確保
- 人員増、広告宣伝活動等の投資を継続

GMOインターネットグループが推進する 技術力強化

グループ正社員数の1/3がエンジニア人財

当社グループの強みの源泉、それは技術力にあります。1995年のインターネット事業開始以来、すべての商材・サービスを一貫して自社で創り上げることにこだわってきました。アジア初のレジストラとして認定された「お名前.com」や、ゼロから自社で立ち上げたGMOクリック証券の例に見るように、開発からマーケティング、運営、サポートまですべてグループ内で対応することにより、圧倒的なスピードと低コスト化を実現しています。スピードとコストは、変化の激しいインターネット業界において、成長のカギとなる重要な要素です。

現在、グループ正社員2,200名のうち、1/3にあたる720名をエンジニアが占めています。当社グループでは今後の技術力強化に向けて、これをさらに増員していくために、専門プロジェクト発足による採用強化、ベトナム子会社GMO RunSystemによる海外人財増強、そして福利厚生の充実を進めています。

グループ正社員数
2,200人



優位性

システム内製化による
スピード・低コスト実現

「GMOアプリクラウド」が3冠達成の高評価

こうした技術力強化により、商材・サービスに対する社外からの評価が高まっています。今年1月には、ゲーム情報サイト「GameBusiness.jp」が選ぶ「アプリクラウドアワード2012」において、当社提供のソーシャルアプリの開発・運営を支援するサービス「GMOアプリクラウド」が最優秀賞をはじめ3冠を達成する栄誉に輝きました。



株主様向けインフォメーション

1 四半期配当

当社は株主の皆様への利益還元をより明確にするために、配当性向の目標を「連結当期純利益の33%を目標とし、業績及び財務体質の状況等を総合的に勘案し決定」とする配当政策の基本方針を採用しております。

上記の基本方針に従い、当期1株当たりの年間配当金を従来の10円から12円とし、期末の配当金を当初予定から2円増配させていただきました。なお、次期の年間配当金は1株当たり12円を予定しております。

	1株当たり配当金					配当性向
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計	
2011/12(実績)	2円00銭	2円00銭	3円00銭	5円00銭	12円00銭	31.8%
2012/12(予想)	3円00銭	3円00銭	3円00銭	3円00銭	12円00銭	32.8%

2 株主優待

毎年6、12月末日の株主名簿・実質株主名簿に記載された1単元以上所有の株主様に対し、株主優待関連書類を郵送にて送付しています(郵送の目安:6月末→9月/12月末→3月)。

下記1~4の内容すべてを併用いただくことができ、すべてご利用いただくと**12,000円相当**と大変お得な内容になっております。是非ご利用ください。

1~4
すべて
利用可能

1.GMOとくとくポイント	2,000ポイント
2.GMOクリック証券におけるGMOインターネット株式買付に係る買付手数料	対象期間中の買付手数料相当額
3.GMOクリック証券における売買手数料	5,000円を上限とした対象期間に生じた取引手数料相当額
4.GMOインターネットグループが提供する各種サービスのご利用料	5,000円を上限とした対象期間に生じた利用料相当額

※株主優待の申請手続きやより詳しい情報につきましては専用ホームページをご確認ください。▶ <https://yutai.gmo.jp/>

「株主優待のご案内」もご覧ください。

詳細につきましては同封の「株主優待のご案内」に記載の内容をご覧ください。ご利用方法やお得なサービス等をご紹介します。

※今回よりログインに「株主番号」「郵便番号」が必要となります。株主番号につきましては同封の「配当金計算書」をご参照ください。

